

## 第2回検討委員会

平成21年2月24日（火）午後3時  
市役所第2委員会室

### 主な内容

- ◆江南市戦略計画について
- ◆江南市市民協働研究会提言書【第3部】について

事務局から、議題の上記2つの項目について、内容の説明があった後、戦略計画における「協働の基本的な考え方」と第3部や市民協働のまちづくりガイドブックでの「市民協働」とは考え方に異なるところがあるため、当委員会ではどうなのか、「協働」の定義について確認しました。

- ◆江南市市民協働研究会提言書【第3部】や市民協働のまちづくりガイドブックにおいて「市民協働」とは、市民協働の運営ルールを確認しあいながら、共通の目標をもって活動する市民活動をいい、様々な団体に所属する個人や代表者も「一人の市民＝個人」として参加します。
- ◆江南市戦略計画では「協働の基本的な考え方」を、市民、自治会、市民団体、企業、教育・研究機関、行政等「様々な地域の構成員」が共通の目標をもって協力し、地域の一員としての自覚ある立場から、地域をよりよくするための活動に自主的に取り組むこととしています。
- ◆市民全体の力を引き出し高めることができ、江南市が抱える課題に取り組んでいけるような条例をつくらうということは合意できました。協働という言葉については、「様々な地域の構成員」が協力していくことが必要であることから、「個人」のみではなく広い意味で使うということを確認しました。

### （主な意見など）

- 市民協働のまちづくりガイドブック、江南市市民協働研究会提言書【第3部】については、今後、当委員会の参考資料として位置づけ検討する。
- 条例の寿命を、戦略計画に合わせて10年にするなど短いスパンで設定し、市民の活力を上げ、市民を元気にし、市民活動が活発に行われる江南市の実現を目標に条例を検討する。
- 原理の宣言ではなく、市民参加しやすいような具体的ルールを定めた条例とする。
- 江南市の課題に「市民力をどう育てるか」が挙げられ、当委員会で検討しなければならぬ課題の一つである。